

お お ぞ ら

No. 167

聖隷福祉事業団への法人移管後は50号

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷三方原病院
聖隷おおぞら療育センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453
TEL 053-437-1467

発行責任者 荻野和功
編集者 横地健治

2015年4月1日

ゾルピデム(睡眠薬)の不思議

横地 健治

意識障害の病態を語るときに必ず出てくるのが、ゾルピデム(商品名マイスリー)という睡眠薬の話です。重症心身障害と意識障害は関係ないように思われますが、決してそうではありません。たいていの横地分類A1重症心身障害(寝返り不能で、言語理解不能)は「遷延性意識障害」の定義を満たすからです(後述)。英語の vegetative state

「植物状態」の意)は、日本では「遷延性意識障害」と命名されています(以後、本稿ではこの状態像に対し「植物状態」の語を用います)。欧米では、ゾルピデムはこの植物状態の改善に有効な薬物とされています。そうすると、ゾルピデムも重症心身障害にも無縁ではないこととなります。

植物状態の4成人に通常量(睡眠目的の用量)のゾルピデムを投与したところ、1時間以内に目覚めたような状態となり、4時間程度は言語理解・言語表出・日常動作機能が回復し(完全ではない)、その後元に戻るのですが、2006年に報告されました。これをイギリスのマスコミが大々的に報道し、世界中で知られるようになりました。2009年には、日本のNHKでも報道されました。

これは医学会でも注目され、追試されました。2014年の論文では、約5%の植物状態の人には確実に有効と報告されました。2010年の小児の後天障害を対象にした研究では、効果はみられなかったとされました。植物状態の大多数に効くことはいませんが、少数には確実に効くようです。そうすると、植物状態の精神面の障害には、固定的な面と薬物に反応する可逆的な面が混在していることになります。

同じようなことが実は当施設入所者でも起こっています。抗てんかん薬のラモトリジン(商品名ラミクタール)です。この薬をてんかんの治療に使

い、てんかんには効果がなかったが、精神面の改善がみられた人が3名いました。いずれも後天障害の成人でした。周囲の出来事によく気づき、すばやく反応し、活発になったと思えました。ということ

は、服薬前は、ぼんやりしている、不活発といった状態

だったこととなります。ここが重要なのですが、この人たちの服薬前の不活発さは、他の重症心身障害の不活発さとは違うのか、今でもまったくわかりません。同じことがゾルピデムにも言えます。ゾルピデムが効いた人と効かない人では、その不活発さがどう違うのか報告されていません。

重症心身障害概念では、その精神面の障害はすべて知能(「知的機能」と同義)で説明されます。一方、植物状態では、その障害をすべてアウェアネスで説明されます(知能については不問です)。それでは、アウェアネスとは一体何でしょうか。

意識についての代表的な考え方では、意識を覚醒(wakefulness)とアウェアネス(awareness、「意識性」と訳されることもあるが、適切な日本語訳とは言えず、カタカナで示されることが多い)の二軸で理解されています。

前者は、睡眠・覚醒の日内リズムを前提とした覚醒状態(目覚めている状態)を指します。後者のアウェアネスは、外界の出来事に対する気づき度(あるいは、感覚の鋭敏さとも言える)、および、自己の内面の世界の気づき度(あ

るいは、自己意識の明確さとも言える)を指しています(難しい概念です)。知能とは別物で、知能の基礎になるものです。アウェアネスは重症心身障害では正常で、植物状態では喪失しているとして、それぞれの概念が成り立っています。

それでは、アウェアネスがないとは、どのように診断されるのでしょうか。日本での「遷延性意識障害」(植物状態と同義)は、以下のうち、5項目以上に適合する状態とされています。(1)自力での移動が不可能であること、(2)意味のある発語を欠くこと、(3)意志疎通を欠くこと、(4)視覚による認識を欠くこと、(5)原始的なそしゃく、嚥下等が可能であっても、自力での食事摂取が不可能であること、(6)排せつ失禁状態であること。これは欧米の植物状態の診断基準と同じです。このうち、(2)

(3)(4)は最重症の知能障害でも当てはまります。(1)(5)(6)は身体機能障害でも当てはまります。これをもって、外界や内面への気づき度(アウェアネス)を表しているとは私には思えません。それゆえ、植物状態は重症心身障害に包括できると私は考えていました。つまり、アウェアネスは知能

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ

だ